

一級自動車工学科

2024年度

授業計画

時期	4年A巡	単元	実習	教科名	体験実習	
科目	体験実習	教科書等 持参品	体験実習用ファイル（新規配布） 各種資料（点検項目、法令など）		発行日	2023年6月1日
総時限	112時限		教科担当	四年生担当教員	●	

1. 指導教員の実務経験

販売会社での業務の実体験がある者、もしくはその業務を理解している者が指導する。

2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）

学校で学んだ理論と技術を企業において実践し、熟練度を確認する。
 職場の厳しさ、生産性を配慮した作業方法、お客さま対応などについて学ぶ
 お客さま対応について実践で経験する。
 これらの経験から、今後の学習課題を具体的に自覚し、残された在学期間の目標を画策する。

3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）

組織の中で働くことを学ぶ
 販売会社の仕事を学ぶ
 実際に使われている自動車を学ぶ
 自動車を使っているお客さまを学ぶ

4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）

日誌
 共通課題
 個人課題

5. 準備学習

各種実習（総合実習、お客さま対応など）

※ ● ⇒ 実務経験がある教員

※ ■ ⇒ 日産資格保持者

時期	4年A巡	単元	実習	教科名	体験実習
5. 授業概要（時限ごとの主な授業内容）					6. 教科書、資料、備品類
日数	主な授業内容			資料、備品類	数量
	受入部署名・受入責任者名	実習概要			
1	サービス技術部・日産 一郎	受入教育（市沢日産について、組織体系等、			
	休み	TSの日常業務について、安全作業について他）			
	休み				
2	市沢店（店舗）日産 次郎（工場	・定期点検整備（車検整備、車検業務含む）			
3	〃	・部品発注業務について			
4	〃	・保証整備、一般整備			
5	〃	・洗車、清掃			
6	〃	・工場の維持管理について			
	〃	・廃棄物処理等・定期点検整備（車検整備、車			
	〃	検業務含む）			
	休み				
	登校日				
7	市沢店（店舗）・日産 三郎（メカ	・定期点検整備（車検整備、車検業務含			
8	〃	む）			
9	〃	・部品発注業務について			
10	〃	・保証整備、一般整備			
11	〃	・洗車、清掃			
	〃	・工場の維持管理について			
	休み	・廃棄物処理等			
	休み				
12	市沢店（店舗）・日産 三郎（メカ	・定期点検整備（車検整備、車検業務含む）			
13	〃	・部品発注業務について			
14	〃	・保証整備、一般整備			
15	〃	・洗車、清掃			
16	〃	・工場の維持管理について			
	〃	・廃棄物処理等			
	休み				
	登校日				
17	市沢店（店舗）・日産 三郎（メカ	・定期点検整備（車検整備、車検業務含			
18	〃	む）			
19	〃	・部品発注業務について			
20	〃	・保証整備、一般整備			
21	〃	・洗車、清掃			
	〃	・工場の維持管理について			
	休み				

一級自動車工学科

2024年度 授業計画

時期	4年A巡	単元	実習	教科名	体験実習
5. 授業概要 (時限ごとの主な授業内容)					6. 教科書、資料、備品類
時限	主な授業内容			資料、備品類	数量
	受入部署名・受入責任者名		実習概要		
	休み				
22	市沢店 (店舗) 日産 次郎 (工場)	・プロフィット (リンクス)			
23	"	・整備料金の算定方法			
24	"	・概算見積書の作成			
25	"	・お客さま対応			
26	市沢店 (店舗) 日産 次郎 (工場)	・補償処理業務			
	市沢店 (店舗) 日産 次郎 (工場)		店舗実習 まとめ		
	休み				
	休み				
27	サービス技術部・日産太郎		・高難度整備作業		
28	"		・故障診断業務		
29	"		・技術情報管理 等		
30	"		(技術課、サービス部業務)		
	サービス技術部・日産太郎		研修 まとめ		

一級自動車工学科		2024年度		授業計画	
時期	A巡	単元	実習	教科名	体験実習
7. 安全 (KYのため必ず授業内で説明)					
番号	作業名	遵守事項		災害事例	チェック
1	リフト操作時	安全確認、声だし、目を話さない		車両落下、車両破損、	
2	エンジン始動時	運転席に座り、ドアを閉め、パーキングブレーキを引き、ニュートラル確認、ブレーキを踏み、安全確認及び声出しをして、始動すること。 始動時リフトを上げ、タイヤを地面から話しておく事。		車両の暴走により、机と衝突 作業中の作業者の巻き込み事故	
3	作業全般	回転部分への巻き込み防止		ベルト、駆動系への巻き込み事故	
4	タイヤ回転時	絶対にスポークをもって作業しない。		ディスクとパッドのすき間点検時に、スポーク部を持ってタイヤを回転させた為、ホイールのスポークと、ブレーキキャリパーの間に指を挟まれ粉碎骨折。	
5	冷却水の量点検	エンジン暖機時は、ラジエータキャップを開けない。		火傷	
6	ベルトの緩み損傷点検時	イグニッションキーは必ずOFFにする事 ラッチェットハンドルを使用する事。		最悪の場合、E/G始動の恐れあり スピナーを使用していた為、ケッチンを食らって裂傷	
7	下回り点検等	保護具を必ず着用する事		目に異物混入(最悪の場合失明) 手の裂傷	
8	設備	エアホース、リフト操作リモコンは静かに戻す事		人に当たったり、破損の原因になる	
9	車両移動	必ず誘導すること 誘導時は車の真正面、真後ろに立たない		事故防止 暴走時の防衛	
10	他	安全ハンドブックに準じる		安全ハンドブックに準じる	
8. 授業レイアウト (写真の貼り付け可)					
実習場			座学教室		